

楽園だより



今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2024年 11月1日 No.81



—— 楽園住宅OB ——
後藤つたえの
実体験

やってよかった! 断熱改修!

こんにちは。金子建築工業の後藤つたえです。楽園住宅在籍中は皆様大変お世話になりました。現在は金子建築工業本社で総務の仕事をしております。先日、楽園住宅の谷宮より作文を書くようにと依頼がありました。「なんで私に?」と確認したら、「常々自宅を断熱改修してよかったと話をするから」と返事が戻ってきました。断ると後が怖いので(笑)、自身の体験談を書かせていただきます。

10年ひと昔と言いますが、当時築28年の2階建て住居34.5坪をまるごと耐震断熱リノベーションしてから12年が過ぎました。

息子夫婦が家に同居すると言うので、当初2階の2部屋のみリフォームする予定でしたが、金子会長(当時社長)から平成23年度長期優良住宅先導事業(既存住宅等の改修)で、200万円の補助金を利用した改修をしてみようかと提案がありました。しかし、補助金を利用して住宅性能と耐震改修するには、住宅性能のレベルアップが必要となり、かなり費用もかかります。老後のことを考えると、少しでもお金を持っていたいと言うのが本音ですが、自宅は昭和56年旧建築基準法と新建築基準法のはざま、基礎が無筋でした。阪神淡路大震災から地震に対して恐怖心が強くなりました。そんな理由で、お金と住まいの安全を天秤にかけ、耐震断熱リノベーション工事に踏み切ったのです。



壁内充填断熱WG/16k 厚100ミリ



耐震改修パネルで壁の補強



小屋裏断熱
セルロースファイバーブローイング厚300ミリ

当時を振り返りますと、冬場結露でベタベタだった窓ガラスが全く結露が無く感動した記憶があります。生活空間の台所、居間、両親の寝室、浴室、トイレはFF式石油ストーブ1台で暖を取りました。朝夕の時間帯のみ使用し、午後8時にはストーブをOFFにしていた覚えがあります。そのストーブの温もりが朝まで残っており、炊事も楽でした。

北側の部屋は陽当たりが悪く、冬場は底冷えがして掃除をする気になれませんでした。改修後は無暖房でも冷えることなく掃除も楽になりました。

現在は、暖冬によりFFストーブは使用せず冬夏兼用で6帖用エアコン1台で生活しています。夏の昼間はカーテンを閉め、日射遮蔽をして省エネ対策をしています。

息子ファミリーは4人家族となり、隣に新築で高断熱高気密住宅を楽園住宅で建てました。息子たちも「楽園住宅で建てて本当によかった。」と喜んでおり、私も嬉しく思います。

現在は1人暮らしになりました。夏場は24時間冷房で電気代は6、7月共に7,800円弱。冬場は24時間暖房で電気代約12,000円くらいです。冬は暖かく、夏は涼しい、まさにその通りです。何より一番不安だった耐震、その不安がなくなったことでストレスも消えました。

毎日安心と快適な住まいで、嫌われるほど長生きしようと思っております。



基礎工事・耐震補強



無筋基礎だったため 外周部基礎補強、外壁はハイベストウッズの耐力壁

断熱工事



外張付加断熱GW/32k 厚50ミリ
ネオマフォーム/厚25ミリ
床断熱GW/厚150ミリ

宿泊体験モデルハウスのご案内 年中快適



住所: 恵那市長島町正家一丁目11番地1

長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう!
無料宿泊体験できます!

楽園住宅

『人と環境に優しい
家づくりをする工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5 TEL 0573-26-5122

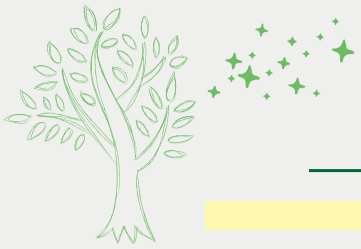


公式LINE はじめました!

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、なんでもお問い合わせください!! また、こんな事本気でやって欲しい!ということがございましたらぜひ、リクエストお願いいたします。



楽園住宅

イギリスの報告①



9月に個人旅行でイギリスへ行く機会がありましたので見て来た事を2回に分けて報告します。

9月3日から10日間、イギリスを旅してきました。羽田からイギリスへの直行便は料金が高いため、中東のカタールドハ経由でロンドンへ。乗り継ぎ時間を含め21時間30分の空の旅、日本との時差は8時間。猛暑日が続く日本から日中は15~16℃、朝晩は11~12℃恵那では11月初旬の気温。イギリスでは長袖シャツにジャケットは寒いくらいで、現地に住む人達はダウンジャケットを着用。出発時に羽田空港で両替した為替レートが1£(グレートブリテン・ポンドGBP)208.48円。カード決済より5%は高い。しかし、現地では大きな支払いには現金よりカード払いが殆どで、中には現金が使えないところも多かった。カードがなければイギリスでは旅ができない。ヒースロー空港に着くと、Uber(ウーバーはアメリカで大ヒットした配車サービス)が使えればと、アプリを携帯に入れてきていた。ユーストン駅迄、タクシーを使わずに行こうとUberで目的地にユーストン駅を入力すると、数台の候補(車種と料金)が出て来た。我々は荷物があるのでミニバンを頼んだ。

83.08(運賃)+5(チップ)GBP(この時点のカードの為替レートは約190円、毎日変動するので決済する時点の為替レートが適用)日本円で16,726円。もっと安い料金の車種もあれば環境に優しいEVも選べる。料金は予め登録したクレジットカード決済、目的地へ着いて支払う煩わしさが無い。渋滞で迂回しても料金は同じだが客待ち時間は料金が掛る。降車してすぐにUberから運転手の接遇が良かったかメールでアンケートが届きチップを1・2・5GBPの中からいくら払うか聞いて来る親切な運転手だったので5GBPチップを払った。

ユーストン駅からはネットで予め指定席乗車券を購入してプリントアウトしていたので駅で乗車券を買う必要はない。改札で乗車券のQRコードチェックがあって列車に乗り込む。列車は満席で車両の入り口の荷物棚に荷物を置いて席に着いた。

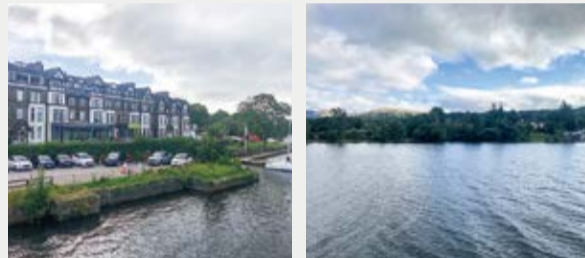
ユーストン駅からオクセンホルム・レイク・ディストリクトへ特急列車で約2時間(運賃8,056円)乗り換えてウインダムミアへ普通列車で20分(1,803円)の行程。



※オクセンホルム・レイク ディストリクトへ向かう特急列車の車窓から

ウインダムミア駅に着くと午後7時でもまだ明るい、緯度が高いイギリス(ウインダムミアは北緯54°、日本の最北稚内でも45°)は9月には、まだ日没が遅い。外国では列車が時刻表通りに運行しないという先入観があったので1時間余裕をみて予定を立てていた。当初の予定では宿に着く時刻が遅く(午後8時)なので駅近くで予約した。ステーションロッジ(1室1泊94.5GBP日本円1泊18,475円)の場所を駅、隣のスーパーマーケットの店員数人に聞いても誰も知らない。困りはて駅前のタクシーの運転手に聞くと、駅から少し離れたところある民泊とのこと。大きな荷物を引いて宿に着くが受付もない、建物の外にある階段を上った入り口に鍵が掛かっている。鍵の番号と部屋の鍵の番号がメールで携帯に届いていた。英語の鍵の開け方の解説を何度も読み返して、小雨の中で20分くらい悪戦苦闘してやっとの思いで部屋へ入った。夕食は道を聞いたスーパーマーケットで買ったサンドイッチとカップ春雨で済ます。確かに安い宿だと思っただ。

朝食は日本から持参したパンと部屋にあった珈琲で済ませる。宿の前に観光案内所があったので荷物を一時預け、タクシー(地方にはUberがない10GBP)でウインダムミア湖ボウネスの船着き場へ行く。観光船(1人17.5GBP)で湖を80分の遊覧、湖面に映る紅葉が始まった山々が綺麗だ。日本とは異なる山の景色で頂まで牧草の山も多い。



※ウインダムミア湖の船上から

この湖水地方(イングランド北部)は山が少ない英国の中で、標高1,000mに近い山々(イギリスで一番高い山は1,344m)が連なる景勝地である。イギリスは日本より国土面積(日本37.8万平方キロ、イギリス24.4万平方キロ)は狭いが、平地が多いので農業に適しており食料自給率が65%と高い。

下船後、ボウネスの街を散歩しイタリアンレストランで昼食(1人約5,000円)をとる。昼食後、タクシーでジェッティ博物館(入場料12GBP)へ、ロンドンへ帰る列車の時刻が決まっていたので、タクシー(70GBP)運転手に待ってもらいグラスミア庭園を散歩する。観光案内所に預けた荷物を受け取りウインダムミア駅まで送ってもらう。

昨日来たコースを戻り、夕方ロンドンのユーストン駅へ着くとUber(13.52GBP+1GBP)を頼む。乗り場がわからずUberの運転手から電話で乗り場の説明を聞くがわからない。うろろろしていると、通り掛かった若い女性が途中まで案内してくれた。地獄で仏とはよく言ったものだ。

ザ・サムナーホテルへ。このホテルでは2泊(1室2泊朝食込み(468GBP 90,846円))。ホテルのフロントで夕食のお勧めのお店を尋ねる。中華料理店「麵麵聚道」を紹介され、部屋へ荷物を置いてすぐにUber(20.86GBP+1GBP)でレストランへ。Uberはホテル玄関からレストランの入り口まで送ってくれるので、目的地の住所を間違えなく入力できれば便利。

イギリスは食事が不味いと言われるが、今回の旅では美味しいお店がほとんど。円安、物価高、消費税20%であるが、料金のことを忘れればそれなりに快適。イギリスのGBPに慣れると日本円での金銭感覚が麻痺してしまう。この中華料理店では、料理を何品か注文してビールを飲んで1人5,700円。翌朝は大英博物館へ。規模も質の高さも他の博物館の追随を許さない世界最高峰の博物館(入場無料)。ともかく広い、西アジアの展示を見ただけで2時間があっという間に過ぎる。



※2500年前のアケメネス朝の遺物 ノーマン・フォスターがデザインしたグレートコート 屋敷は築300年の馬車宿ジョージ・インがバブに改装された店で、イギリス名物フィッシュ&チップとエールビールにする。注文はレジで現金(1人17.1GBP3,700円)の前払い。



※フィッシュ&チップスとモートパイ

※バラ・マーケット(ロンドンの生鮮食品市場)

バラ・マーケットの歴史は1000年以上ありイギリスで一番大きな生鮮食品市場で今では外国人観光客も多く、東京築地の場外市場のように活気が溢れている。

午後からはロンドン塔(英国王室の宮廷として使われたこともあったがもっぱら牢獄としての歴史を歩んできた)の中にあるジュエル・ハウス(戴冠式で使う王冠をはじめ王室の宝物が展示されている)を観光する。イギリスでは入場料(1人27.7GBP 5,770円)を払うときにシニアチケット(65歳以上)と言っても年齢を確認されたことがない。

第5回 暮らしのお役立ちセミナー

物価高騰への対策を!

ふるさと納税・固定費削減

12/14(土) 午前の部 / 10:00~11:00
午後の部 / 14:00~15:00

参加無料
駐車場完備
予約制



お申込みはこちら



わかる!
と思ったあなた!
ぜひご参加ください

同時開催 マイホーム取得初年度の方に向けた確定申告説明会

今年お引渡しをさせていただいた楽園住宅のオーナー様のために
確定申告について説明会(約60分)を実施します。
住宅ローン減税を受けるための手続きについてご案内いたします。

午前の部 / 11:00~12:00
午後の部 / 15:00~16:00

後悔しない住まいづくり&後悔しない住まいのリフォームのために

楽園住宅のすまい塾

住まいづくりを考えている方、ご興味がある方ならOK!
土地をお持ちでない方、建築時期が未定の方も受講できます

省エネで快適な性能の家づくり
12/7(土) 結露のしにくみ・断熱と気密とサッシの大切さ・換気と暖房のしにくみ

(夜)モデルハウスで会食
1/18(土) 高断熱高気密住宅の冬の暮らしを体感しながら食事を楽しみましょう

場所 土壁【宿泊体験】モデルハウス
恵那市長島町正家1-11-1 十六銀行様斜め向かい

会場案内図

夏も冬もとっても省エネ&快適な「土壁のプラスエネルギー住宅」を体感できます

省エネで快適な性能の家づくり
料金 1,000円 (税込・ひと家族様)
時間 10:00~12:00

モデルハウスで会食(夜)
料金 5,000円 (税込・ひと家族様)
時間 18:30~20:30

お申込み
お申し込みはこちら
楽園住宅 | 検索



----- エアコン1台で家中どこでも快適な空間をぜひ体感して下さい -----

体感見学随時受付中!

恵那市長島町正家一丁目5番地5
TEL 0573-26-5122

楽園住宅

